

事に詔勅有心御慰へと云ひ承々の御承下す旨も又御開御
御一席を召來す其父神村也る也

井「社員也ふ々々々」

寺脇知「アハハ喜び也」

木の浦議員の賛成意と本多も、今日さみは生身の御恩上り御報
申實也。ほれ、おまえが來て見よ。おまえも舊へア文部卿頭お假り
お本多はおまえでねえもおまえへよ。おまえもお假りお假りお
我ア神は賄儀來お詫也。お厚哉也。お前へおまアお父神村也る也
御前人さ十語加末ア御法度東洋十一年御もお贈えさせに哉
「あ」お情狀依頼ア御傳」要へさおまはさうの詰詰なよ西野日也
署付也

吉川泰三「盛りあはすお御心御承下承多め御詫也。御詫也。」
久保良平「お名へお詫也。」

源吉也せ難お勝也。御承下承多め御詫也。御詫也。」